

科目名	成人看護学概論	時期		時間	単位
担当教員	専任教員 専任教員は看護師として実務経験が5年以上あり、その経験を活かして授業を行う	1年次	後期	30時間	2単位
学習目標	1 成人の特徴と生活、健康問題を理解する 2 成人への看護アプローチの基本を理解する 3 成人の健康レベルに応じた看護の原理を理解する 4 成人の健康生活を促すための看護を理解する				

授 業 計 画			
回数	項目	内容	方法
1～2	成人の特徴と生活	1 対象の理解 (1) 青年期、壮年期・中年期、向老期の発達課題 2 対象の生活	講義
3～5	生活と健康	1 成人をとりまく環境と生活の状況 2 成人の健康の状況 (1) 健康格差 (2) 職業性疾病・業務上疾病 (3) 受療状況 (4) 生活習慣病(高尿酸血症、脂質異常症、肥満) など 3 生活と健康をまもりはぐくむシステム	講義・演習
6～7	成人への看護アプローチの基本	1 生活のなかで健康行動を生みはぐくむ援助 2 健康問題をもつ大人と看護師の人間関係 3 人々の集団における調和や変化を促す看護アプローチ 4 チームアプローチ 5 看護におけるマネジメント 6 看護実践における倫理的判断 7 意思決定支援と家族支援	講義
8～10	健康レベルに対応した看護	1 ヘルスプロモーションと看護 2 健康を脅かす要因と看護 3 健康生活の急激な破綻から回復を促す看護 4 慢性病との共存を支える看護 5 障害がある人の生活とリハビリテーション 6 人生の最期のときを支える看護	講義
11～14	成人の健康生活を促すための看護	1 学習者である患者への看護の原理 2 治療過程にある患者への看護 3 症状マネジメントにおける看護 4 療養の場を移行する人々への看護 5 新たな治療法、先端医療と看護	講義
15	試験 (90分)		

使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[1] 成人看護学総論	小松 浩子 他	医学書院
	国民衛生の動向		厚生統計協会
	生活習慣病のしおり		社会保険出版社
	事例を通してやさしく学ぶ中範囲理論入門	佐藤 英子 他	日総研出版
参考図書・資料等	看護のための人間発達学 第5版	舟島なをみ 他	医学書院
	生涯人間発達論 人間への深い理解と愛情を育むために	服部 祥子	医学書院
評価方法	筆記試験、講義およびグループワーク参加態度、授業出席状況		

科目名	成人看護援助論 I	時期		時間	単位
担当教員	専任教員・非常勤講師 専任教員は看護師として実務経験が5年以上あり、その経験を活かして授業を行う	2年次	前期	30時間	1単位
学習目標	1 急性期にある対象と、その家族の特徴および看護を理解する 2 周手術期にある対象の特徴と周手術期看護の援助方法を理解する 3 消化・吸収機能障害のある患者の看護を理解する 4 循環機能障害のある患者の看護を理解する				

授 業 計 画			
回数	項目	内 容	方法
1～3	周手術期にある患者の特徴と看護 (術前・術中・術後)	1 術前からの看護 (1) 術前オリエンテーション (2) 術後合併症のリスクと予防 2 術中の看護 (1) 麻酔による影響と援助 (2) 手術体位による影響と援助 (3) 安全管理 3 術後の看護 (1) 手術侵襲と生体反応 (2) 術後の疼痛管理 (3) 気管内吸引 (4) 創傷、ドレーン管理 ア 創処置の実際 イ 無菌操作 (5) 術後合併症と予防 (6) ボディーイメージの変容	講義・演習 (専任教員) <b>【演習】</b> <レベルⅢ> 76. 創傷処置のための無菌操作 (レベルⅣ) 66. 気管内吸引の観察点 68. 人工呼吸器装着中の患者の観察点 77. 消毒薬の特徴がわかる
4～10	消化・吸収機能障害のある患者の看護	1 上部消化管腫瘍 (食道がん・胃がん) 2 下部消化管腫瘍 (直腸がん) 3 炎症性疾患 (大腸炎・クローン病) 4 手術療法をうける患者の看護 (1) 腹腔鏡手術を受ける患者の看護 (2) 胃の手術を受ける患者の看護 (3) 腸の手術を受ける患者の看護 5 ストーマケア	講義・演習 (非常勤講師) <レベルⅣ> 26. ストーマを増設した患者の一般的な生活上の留意点がわかる
11～14	循環機能障害のある患者の看護	1 虚血性心疾患患者の看護 2 心不全患者の看護 3 不整脈患者の看護 4 弁膜症患者の看護 5 閉塞性動脈硬化症患者の看護 6 冠状動脈インターベンション・ペースメーカー治療を受ける患者の看護 7 心臓リハビリテーションと看護	講義・演習 (非常勤講師) <レベルⅣ> 70. 循環機能のアセスメントの視点がわかる
15	試験 (90分)		

テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[3]循環器	吉田 俊子 他	医学書院
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[5]消化器	松田 明子 他	医学書院
	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論	矢永 勝彦 他	医学書院
	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論	北島 政樹 他	医学書院
	根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術	任 和子 他	医学書院
参考図書・資料等	高齢者と成人の周手術期看護 1、2、3 第2版	竹内 登美子	医歯薬出版
評価方法	筆記試験・レポート		

科目名	成人看護援助論Ⅱ	時期	時間	単位	
担当教員	非常勤講師	2年次	前期	30時間	1単位
学習目標	1 慢性期にある対象とその家族の特徴および看護を理解する 2 慢性期にある対象がセルフマネジメントを継続するための看護を理解する 3 内分泌機能、腎・排尿機能、呼吸機能の障害のある患者への看護を理解する				

授 業 計 画			
回数	項目	内 容	方法
1～5	内分泌機能障害のある患者の看護	1 内分泌機能障害の原因 2 内分泌機能による症状と観察 3 治療を受ける患者の看護 (1) 糖尿病患者の看護 (1・2型糖尿病) (2) 甲状腺疾患患者の看護 (甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、甲状腺がん) (3) 副腎疾患患者の看護 (4) 下垂体疾患患者の看護 (下垂体腫瘍)	講義 <レベルⅡ> 117 血糖測定 <レベルⅣ> 98. 99. インシュリン製剤の種類と投与されている患者の観察
6～9	腎・排尿機能障害のある患者の看護	1 腎・排尿機能障害の原因 2 腎・排尿機能障害による症状と観察 3 治療を受ける患者の看護 (1) 急性・慢性腎不全患者の看護 (2) 腎炎・慢性腎臓病患者の看護 (3) 前立腺肥大のある患者の看護 (4) 腫瘍 (腎がん、膀胱がん、前立腺がん) のある患者の看護 (5) 腎・尿路結石のある患者の看護 4 腎移植を受ける患者の看護 5 透析療法を受ける患者の看護 (1) 血液透析 (2) 腹膜透析	講義
10～14	呼吸機能障害のある患者の看護	1 呼吸機能障害の原因 2 呼吸機能障害による症状と観察 3 治療を受ける患者の看護 (1) 腫瘍 (肺がん、中皮腫) (2) 炎症性疾患 (肺炎、気管支炎、胸膜炎) (3) 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	講義 <レベルⅣ> 69. 低圧胸内持続吸引中の観察
15	試験(90分)		

使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[1] 成人看護学総論	小松 浩子 他	医学書院
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[6] 内分泌・代謝	黒江 ゆり子 他	医学書院
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[8]腎・泌尿器	大東 貴志 他	医学書院
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[2]呼吸器	浅野 浩一郎 他	医学書院
	根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術	任 和子 他	医学書院
参考図書・資料等			
評価方法	筆記試験、グループワーク・レポートを総合的に評価する		

科目名	成人看護援助論Ⅲ	時期		時間	単位
担当教員	非常勤講師	2年次	前期	30時間	1単位
学習目標	1 終末期にある対象とその家族の特徴および看護を理解する 2 血液悪性疾患、肝臓・胆嚢疾患、膵臓疾患、HIV/AIDS、感覚機能障害のある患者の看護を理解する				

授 業 計 画			
回数	項目	内 容	方法
1～4	血液悪性疾患患者の看護	1 白血病患者の看護 2 悪性リンパ腫患者の看護 3 がん薬物療法と看護 4 放射線療法と看護 5 造血幹細胞移植を受ける患者の看護 6 輸血療法を受ける患者の看護	講義
5～8	肝臓・胆嚢疾患患者の看護	1 肝炎患者の看護 2 肝硬変症患者の看護 3 肝がん患者の看護 4 胆石症患者の看護	講義
9	膵臓疾患患者の看護	1 急性膵炎患者の看護 2 慢性膵炎患者の看護 3 膵臓がん患者の看護	講義
10	HIV/AIDS 患者の看護	1 HIV/AIDS 患者の病期に応じた看護 (1) 急性感染期 (2) 無症候期 (3) エイズ発症期	講義
11	感覚機能障害のある患者の看護 (眼)	1 中途視覚障害者の看護 2 白内障患者の看護	講義
12	感覚機能障害のある患者の看護 (耳鼻)	1 突発性難聴、メニエール病患者の看護 2 副鼻腔炎患者の看護	講義
13～14	人生の最期のときを支える看護	1 延命治療から患者の自己決定を重視した医療へ 2 人生の最期のときにおける緩和ケア 3 人生の最期のときを過ごしている人への理解 4 人生の最期のときを支える看護	講義
15	試験(90分)		

テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[4] 血液・造血器	飯野 京子 他	医学書院
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[5] 消化器	松田 明子 他	医学書院
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[11] アレルギー 膠原病 感染症	岩田 健太郎 他	医学書院
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[13] 眼	大鹿 哲郎 他	医学書院
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[14] 耳鼻咽喉	小松 浩子 他	医学書院
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[1] 成人看護学総論	小松 浩子 他	医学書院
参考図書・資料等	新体系 看護学全書 成人看護学⑨ 感染症 アレルギー・免疫 膠原病	竹田 美文 他	メヂカルフレンド社
評価方法	筆記試験、グループワーク、レポート、出席状況などを総合的に評価		

科目名	成人看護援助論Ⅳ	時期	時間	単位	
担当教員	専任教員・非常勤講師 専任教員は看護師として実務経験が5年以上あり、その経験を活かして授業を行う	2年次	前期 後期	30時間	1単位
学習目標	1 がん患者と家族への看護を理解する 2 終末期および緩和ケアを必要とする対象とその家族の特徴および看護を理解する				

授 業 計 画			
回数	項目	内 容	方法
1～4	がん患者の看護①	1 がん患者の苦痛に対するマネジメント 2 がん患者の心理的サポート 3 がん治療に対する看護 4 がん治療の場と看護 5 治療をうける患者の看護 (1) 脳腫瘍 (2) 舌がん (3) 咽頭がん (4) 喉頭がん	講義 (非常勤講師)
5～6	がん患者の看護②	1 乳がんの治療を受ける患者の看護 (1) 乳房の手術を受ける患者の看護 (2) 化学療法を受ける患者の看護 (3) 放射線療法を受ける患者の看護 (4) ホルモン療法を受ける患者の看護	講義 (非常勤講師) 139. 薬剤の暴露の危険性および防止策
7～10	緩和ケアを必要とする患者と家族への看護	1 緩和ケアにおける看護介入 2 身体的ケア (1) オピオイドを使用する患者の看護 他 3 精神的ケア 4 社会的ケア 5 スピリチュアルケア 6 家族ケア	講義 (非常勤講師) 100. 麻薬を投与されている患者の観察点
11～14	事例展開	1 看護過程の考え方 2 事例展開の実際 (1) アセスメント (2) 看護上の問題点の明確化 (3) プランニング	講義 (専任教員) 〈レベルⅡ〉 114. 系統的な観察 115 患者のアセスメント
15	試験 (90分)		

使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[1] 成人看護学総論	小松 浩子 他	医学書院
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[7] 脳・神経	飯野 京子 他	医学書院
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[9] 女性生殖器	末岡 浩 他	医学書院
	系統看護学講座 別巻 がん看護学	小松 浩子 他	医学書院
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[14] 耳鼻咽喉	小松 浩子 他	医学書院
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[15] 歯・口腔	渋谷 絹子 他	医学書院
	系統看護学講座 別巻 緩和ケア	恒藤 暁 他	医学書院
	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術	北島 政樹 任 和子 他	医学書院
参考図書・資料等			
評価	筆記試験、グループワーク、レポート、出席状況などを総合的に評価する		

科目名	成人看護学実習	6単位	270時間
-----	---------	-----	-------

### I 成人看護学実習 I (2単位 90時間)

実習目的	成人期にあり慢性疾患をもつ対象とその家族を理解し、生活の再構築や生涯にわたるセルフケア・セルフケアマネジメントを支援するための基礎的能力を修得する
実習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 成人期にある対象とその家族の特徴を理解する</li> <li>2 慢性疾患をもつ対象の健康問題をアセスメントする</li> <li>3 慢性疾患をもつ対象の看護問題を明確化する</li> <li>4 慢性疾患をもつ対象の看護問題を解決するための看護計画を立案し、実施する</li> <li>5 セルフケアやセルフケアマネジメントを必要とする対象とその家族への看護について考察する</li> </ol>

### II 成人看護学実習 II (2単位 90時間)

実習目的	成人期にある対象とその家族を理解し、急激な疾病の発症や急性増悪、健康の回復への看護を実践するための基礎的能力を修得する
実習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 急激な疾病の発症や急性増悪、健康の回復過程にある対象とその家族の特徴を理解する</li> <li>2 急激な疾病の発症や急性増悪、健康の回復状態にある対象の健康問題をアセスメントする</li> <li>3 急激な疾病の発症や急性増悪、健康の回復状態にある対象の看護問題を明確化する</li> <li>4 急激な疾病の発症や急性増悪、健康の回復状態にある対象の看護問題を解決するための看護計画を立案し、実施する</li> <li>5 救急医療を必要とする対象の特徴と看護の役割を理解する</li> <li>6 急激な疾病の発症や急性増悪、健康の回復状態にある対象とその家族への看護について考察する</li> </ol>

### III 成人看護学実習 III (2単位 90時間)

実習目的	成人期にあり治癒及び回復の困難な状態、または人生最期のときを過ごしている対象とその家族を理解し、対象に応じた看護を実践するための基礎的能力を修得する
実習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 治癒及び回復の困難な状態、または人生最期のときを過ごしている対象とその家族の特徴を理解する</li> <li>2 治癒及び回復の困難な状態、または人生最期のときを過ごしている対象の健康問題をアセスメントする</li> <li>3 治癒及び回復の困難な状態、または人生最期のときを過ごしている対象の看護問題を明確化する</li> <li>4 治癒及び回復の困難な状態、または人生最期のときを過ごしている対象の看護問題を解決するための看護計画を立案し、実施する</li> <li>5 治癒及び回復の困難な状態、または人生最期のときを過ごしている対象とその家族への看護について考察する</li> </ol>